

1. 件名：ALPS スラリー脱水設備の検討状況に関する面談
2. 日時：令和5年9月14日（木）13時30分～14時45分
3. 場所：原子力規制庁6階会議室
4. 出席者：
原子力規制部
東京電力福島第一原子力発電所事故対策室
岩永室長、大辻管理官補佐、高橋係員

東京電力ホールディングス株式会社 福島第一廃炉推進カンパニー
プロジェクトマネジメント室 3名（テレビ会議システムによる出席2名）
福島第一原子力発電所 8名（テレビ会議システムによる出席3名）
5. 要旨：
 - 原子力規制庁は、東京電力ホールディングス株式会社（以下「東京電力」という。）から、令和4年9月12日に開催された第102回特定原子力施設監視・評価検討会における原子力規制庁からの指示を踏まえたALPS スラリー脱水設備の検討状況と、関連する技術的課題について、資料に基づき説明を受けた。
 - 原子力規制庁は、上記の内容について確認し、次回の特定期間原子力施設監視・評価検討会（以下「監視・評価検討会」という。）において、スラリー脱水処理の設計方針に対する将来の固化処理との関連など、脱水の意義と両者スケジュールの関係を議論できるよう、資料を整理するように求めた。
 - 東京電力から、原子力規制庁からのコメントについて検討の上、監視・評価検討会に向けて必要な対応を行っていく旨回答があった。
6. 資料：
ALPS スラリー安定化処理設備設置における検討状況と関連する技術的課題